

令和 8 年度当初の ごあいさつ

校長 藤井 光正

中学生のみなさん、保護者のみなさん、三国丘高校ホームページによ
うこそ！私は、校長の藤井です。

早速ですが、私は、中学校長会や PTA 等が主催してくださる合同学
校説明会等に、昨年度 1 年間で 13 回参加しました。延べにすると
1,000 人以上の中学生や保護者のみなさんにメッセージを伝えたこ
とになります。

私が最初に伝えたのは、「**失敗しない高校選びの方法**」です。
保護者のみなさんは高い関心を示してくださいました。
次の3つです。

① 「ホンモノ」に出逢える学校を選ぶこと

高校時代は、自分の将来の在り方について考える大事な時期で
す。「ホンモノ」に出逢う機会が少ないと、正しい判断ができません。

② 多様な価値観を学べる学校を選ぶこと

偏差値だけで人を評価する世界しか知らない人間がいたとすれ
ば、その人は不幸です。社会で本当に役立つのは、多様な価値観
の中で育ってきた人間です。

③ 本人が、憧れを持てる学校を選ぶこと

青春の 3 年間は短いです。憧れる対象を持っている生徒は、驚くほど伸びます。

次に、三国丘高校が、みなさんに選ばれる学校であり続けるために何をしているのかを、上の①②③に沿って説明しました。

このあたりから、中学生の目が輝きだします。

まず、三国丘高校で出逢える「ホンモノ」についてです。

NASA 研修、オーストラリア語学研修、フィリピン研修、三丘セミナー、国際交流事業、京都大学キャンパスガイド、大阪大学医学部訪問…まだまだあります。大学教授や第一線で活躍する研究者と出逢える数では、どこの高校にも負けない自信があります。宇宙開発や医療の最前線(現場)に行く機会の多さもとびぬけていると自負しています。

多様な価値観の話は、三国丘高校の学校生活と密接な関係があります。三丘生(三国丘高校の生徒のことを“三丘生”と呼んでいます)の生活は超多忙です。勉強だけではなく、部活動、探究活動、学校行事…それはもう濃密な時間です。勉強だけとかスポーツだけとか、価値観が偏りやすい環境に置かれている生徒は一人もいません。

憧れは、成長するためのスイッチです。今年の対面式(新入生と在校生がはじめて顔を合わせる式)の新入生代表挨拶の最初のフレーズは「私たちが憧れた三丘生になれたことは、最高の喜び…」でした。

学校説明会で三丘生に会って、憧れの気持ちを持ってから猛勉強し

て三国丘高校に入学したという話は、数えきれないくらい聞きました。

最後に、今年度の入学式と昨年度の卒業式の式辞の中で、私がお話しした言葉を、そのまま抜き出してご紹介します。

令和 7 年度(78 期生)卒業式式辞より

(前略) 三国丘高校はみなさんの「家」です。
だから、78期生のみなさんを送り出す一言はこれに決めました。
「行ってらっしゃい」「元気でな」

令和 8 年度(81 期生)入学式式辞より

新入生のみなさん、私は今日から、あなた方のことを我が子だと思ふことにします。(中略)あらためて、保護者のみなさん、こんな校長が率いる教職員です。安心して任せてください。
一緒に子どもたちを支えていきましょう。

自分で言うのも変な話ですが、もし今、自分に中学生の子どもがいたら、迷わず、学校説明会に参加して、三丘生に会わせます。

そしてもし、子どもが三国丘高校に興味を持ったら、多少通学に時間がかかったとしても、子どもの背中を押すと思います。

私が想像するようなことが実際に起こっているのかもしれませんが。
大阪市域を中心に、三国丘高校を受験してくれる中学生の住所地(工

リア)がどんどん広がっています。

実際に、三国丘高校でやりたいことがあるから、1 時間以上かけて通学してくれている生徒や、自宅の近くに進学校があるのに、三国丘高校を選んでくれた生徒が在籍しています。嬉しいことです。

進学実績や部活動のことなど、みなさんの関心が高い情報は、このホームページでご覧いただけます。

私が日々の出来事を綴った「校長ブログ」は、年間 200 本を超えています。これを読めば、三丘生のリアルな日常生活を実感していただくことができます。

最後に、「校長ブログ」から数枚の写真を転載します。



